

2017年度(2018年3月期) 第1四半期決算説明会



2017年8月2日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



2017年度第1四半期実績：概要

(億円)

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前期比増減	
売上高	694	685	-9	-1.3%
セルフメディケーション	430	448	+18	+4.2%
医薬	264	237	-27	-10.3%
営業利益	91	69	-22	-23.8%
経常利益	104	88	-16	-15.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	55	-14	-20.3%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2017年度第1四半期の概況：SM事業

(億円)

	2017年度 1Q	前年同期比 増減		要因
SM事業全体	448	+18	+4.2%	
SM国内	359	+4	+1.1%	
リポビタンシリーズ	146	-10	-6.3%	市場ダウントレンドの影響等
パブロンシリーズ	46	+3	+7.9%	かぜ薬や鼻炎治療薬の伸長
リアップシリーズ	37	-1	-1.9%	継続ユーザーの維持
その他	130	+11	+9.3%	通信販売事業の伸長
SM海外	83	+14	+21.2%	計画通りの伸長 一時的在庫要因あり

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況>

国内OTC医薬品市場：前年同期比(4~6月)+1.2%
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



2017年度第1四半期 SM海外：売上高

(億円)

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	前期比増減	
SM海外	68	83	+14	+21.2%
ドリンク剤	25	28	+3	+12.5%
OTC医薬品	42	51	+9	+20.6%
アジア	36	45	+9	+26.1%
その他	6	6	-1	-10.5%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2017年度第1四半期の概況：医薬事業



(億円)

	2017年度 1Q	前年同期比 増減		要因
医薬事業	237	-27	-10.3%	
エディロール	62	+5	+8.0%	骨粗鬆症治療のベース薬として定着
ゾシン	28	-15	-34.3%	後発品の影響により減少
ボンビバ	16	-1	-5.8%	昨年1Qに経口剤の新発売あり
ルセフィ	12	+7	+157.9%	SGLT2阻害剤市場の拡大
ロコア	8	+5	+199.5%	高い臨床効果の認知の広がり

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況>

医療用医薬品市場：前期比-0.9%

・抗菌薬市場-6.4% ・ビタミンD3市場+6.1%

・骨粗鬆症及関連疾患用ビスホスホネート市場-2.1% ・SGLT2阻害剤市場+67.0%

(Copyright © 2017 QuintilesIMS.、JPM2016年4月-2017年6月をもとに作成、無断転載禁止)



2017年度第1四半期：売上高・利益増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-9億円)	セルフメディケーション事業 (+18億円)	医薬事業 (-27億円)
営業利益 (-22億円)	売上総利益* -1億円 (売上総利益率* 前期64.0% → 当期64.6%)	
	販管費 +21億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+2億円
	・広告宣伝費	+10億円
	・販売促進費	+2億円
	・人件費	-2億円
・その他	+8億円	
営業外損益：持分法投資損失 4億円 (前期比-1億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2017年度：通期業績予想

(億円)

	2017年度 2Q(予)	2017年度 予想	前期比増減	
売上高	1,375	2,790	-8	-0.3%
セルフメディケーション	893	1,813	+13	+0.7%
医薬	482	977	-21	-2.1%
営業利益	115	285	-35	-10.8%
経常利益	145	345	-35	-9.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	105	240	-48	-16.6%
1株当たり当期純利益(円)	131.41	300.38	-	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2017年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-8億円)	セルフメディケーション事業 (+13億円)	医薬事業 (-21億円)
営業利益 (-35億円)	売上総利益* +27億円 (売上総利益率* 前期63.7% → 当期64.8%)	
	販管費 +61億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+27億円
	・広告宣伝費	+11億円
	・販売促進費	+10億円
	・人件費	+5億円
	・その他	+8億円
営業外損益：持分法投資損失 10億円(前期比 -4億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2017年8月2日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-152* (注射)	<u>抗TNFα抗体</u> 関節リウマチ	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害(AD/HD)	自社	国内
TS-133 (外用)	脱毛症	自社	国内
TS-142 (経口)	不眠症	自社	国内
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外

*TS-152：一般名：Ozoralizumab



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品：フェーズ1

(2017年8月2日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071* (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外

*TS-071：一般名：ルセオグリフロジン水和物、国内販売名：ルセフィ